

総務常任委員会

幸手市個人情報保護条例  
及び幸手市情報公開条例  
の一部を改正する条例  
(議案第65号)

**問** 条例の改正点は。

**答** 国の個人情報保護法および行政機関の保有する個人情報に関する法律が変わったことにより、市の条例を改正するものである。

① 個人情報の定義が今まで生年月日、氏名、その他の記述等という曖昧な表記を図書、区画、電磁的記録、音声、動作等の方法により表されたものと具体的に明記した。  
② 要配慮個人情報の新設で、宗教的な事は市の条例の中に限定列挙していたが、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律で言葉の定義づけがされた。  
③ 小規模事業所も個人情報保護法の規制対象となった。5千未満の個人情報保有している企業も対象となり、市からの指導、勧告が不要になり、その部分を削除する。

幸手市部設置条例等の一部を改正する条例  
(議案第66号)

**問** 現在の組織を改正する最大の理由について。

**答** 平成30年度以降の組織再編にあたり、政策立案能力の強化、シタイプロモーション活動の強化、意思決定ラインの明確化の3点をコンセプトに基本方針を立てた。内容は、市長部局に総合政策部を新たに設けて、そこで秘書、政策、財政等を行う組織を置くこと。今まで幸手市の弱いところであったので、その点を強化したいため。

**問** 幸手市定員適正化計画との整合性は。

**答** 実際に定数を超えた人数があり、その定数を超えた定員適正化計画になっていたので整合性を欠いており、まことに申し訳なく思っている。過去数年間の職員の任用の関係で、再任用や臨時的任用、あるいは任期付き職員など、いろいろ新しい任用の仕方の職員

が増えていて、その中で定数に入る職員と入らない職員のカウント数の誤りがあった。



平成29年度幸手市一般会  
計補正予算 (第3号)  
(議案第70号)

**問** 国庫支出金の土木費国庫補助金137万5千円の増額は。

**答** 増額理由は、道路橋梁費の補助金で、内容的には橋梁の定期点検の業務委託の分である。当初予算でも措置されているが、国で追加要望があったため、新たに今回追加するもの。

補助の基本額は250万円で、その55%が新たに交付される見込みとなっている。

**問** 地方創生推進費454万千円減額の経緯と今後について。

**答** 地方創生推進費の事業について、11月7日に内閣府のホームページで発表があり、採択されなかったのが減額となったもの。今後、製造業者実態調査業務委託については、補助事業があればそれを活用して、翌年度以降何らかの形で実施していきたいと考えている。

**問** 財政調整基金の積立金8200万円について、12月の段階でこれを補正財源として、次の事業執行をする要求等はなかったのか、また年度末の予定の財政調整基金残高について。

**答** 今回の12月補正で、おそらく事業課等からそのような要望があれば、このような形での計上はなかったと考えている。財政調整基金の平成29年度末の残高見込みは、10億1706万千円を予定している。



## 文教厚生常任委員会

### 幸手市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 (議案第67号)

**問** 控除対象配偶者から同一生計配偶者に文言が変わったが、実態に変化があるのか。

**答** 所得税法の改正により控除対象配偶者の内容が変わり、合計所得金額が1千万円以下である居住者の配偶者と、所得制限が設けられることから、現行の取扱いを維持するために、文言を変える必要があったものである。

### 平成29年度幸手市一般会計補正予算 (第3号) (議案第70号)

**問** 老人福祉センター管理運営費の案内看板撤去工事で、案内看板を撤去する理由について。

**答** 施設の開設当初に設置された看板であり、腐食があることや、設置当初は、自動車ではなく、バ

イク・自転車の利用を想定していたため、大きな通りではなく、農道等に設置されたため、案内として分かりづらくなっていることから13カ所中3カ所を残して撤去するものである。



老人福祉センター

**問** 生活保護扶助費の減額799万7千円のうち、医療扶助費の減額が5038万7千円となっているが、その理由について。

**答** 第1の要因は、生活保護受給者が減っていること、第2の要因は高齢者の比率が高くなっており、施設に入所されている方が、かなりおられることから、医療扶助費が減っている。

**問** 保健衛生総務費の、胃がん検診業務委託料の減額理由について。

**答** 入札により検診を実施しており、当初見込みより委託料が減ったためである。

**問** 幼稚園費の工事請負費が72万4千円の減額となっているが、耐震補強工事の予算額と契約額は、

**答** 当初予算額が2187万円、設計額が1638万3600円で、入札の結果、契約額は1465万5600円となった。

### 平成29年度幸手市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号)(議案第71号)

**問** 後期高齢者医療広域連合納付金の増額理由について。

**答** 保険基盤安定負担金が確定したことにより、歳入歳出で同額を計上したものであるが、この負担金は、低所得者の方の保険料軽減分を公費で負担することになっているため、広域連合に納付しているもので、当初見込んだ人数より、確定した人数が319人増えたため、増額するものである。

### 平成29年度幸手市介護保険特別会計補正予算 (第2号)(議案第72号)

**問** 介護認定調査員報酬の増額理由について。

**答** 申請件数の増加により、調査員報酬の不足が見込まれることから、予算を増額するものである。

### 請願第1号

「市立吉田幼稚園の存続を求める件」が市議会に提出され、文教厚生常任委員会に付託されました。当委員会において審査を行った結果、本件については、さらに審査する必要があるので、閉会中の継続審査といたしました。



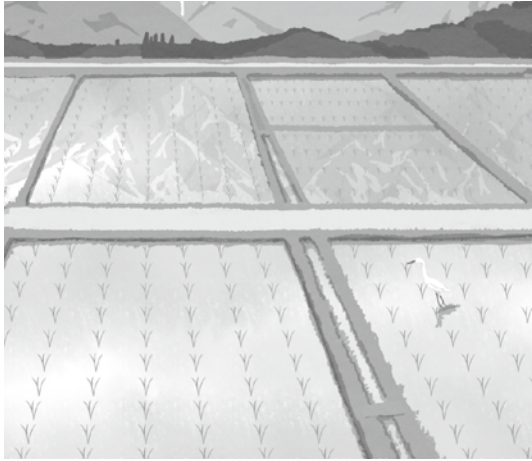
幸手市立吉田幼稚園

建設経済常任委員会

**例** 幸手市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例 (議案第68号)

**問** 本会議場ではこの条例の適用についての例がまれだったという答弁がなされたが、今後、この条例が適用されていく市政の現状は。

**答** 当面、幸手市営土地改良事業は予定されていないが、災害等が発生した場合にも土地改良事業が出来ることになっている。



**例** 幸手市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例 (議案第69号)

**問** 農業委員と農地利用最適化推進委員の業務の内容は。

**答** 農業委員は総会にて議決をすることで、農地利用最適化推進委員は総会に出席して意見を言うこととはできるが、議決権はありません。農業委員と農地利用最適化推進委員と力を合わせ、農地のパトロール、農地の情報を共有し、協力していくことを想定している。

**問** 農業委員会等に関する法律の改正部分、どのように改正されたのか。

**答** 農業委員会の事務の重点化、農業委員の選出方法の変更というのがあり、農業委員の公選を廃止し、市長村長が議会の同意を得て任命をすることになる。

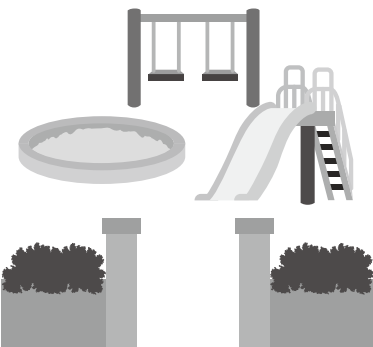
平成29年度幸手市一般会計補正予算 (第3号) (議案第70号)

**問** 排水路の補修工事の200万円の内容は。

**答** 上高野1丁目地内、東側の水路の底打ちコンクリートの打設を約100メートルの予定。

**問** 公園寿命化工事の1165万5千円の減額理由は。

**答** 社会资本整備総合交付金の事業の対象となっており、当初1500万円要求していたが、内示が1千万円と言うことで減額の内示があり事業を縮小した。また、入札の執行残があり結果としてこのような減額となった。



**問** けやき台調整池管理負担金の増額は。

**答** 南2丁目地内に幸手市と久喜市にまたがり設置されている。例年は除草や浚渫などの経費として15万円ほどの予算です。今年度当初に護岸修繕を予定し50万円を計上しましたが、久喜市との調整でフェンスの修繕も同時に行うこととなり追加で補正をした。

平成29年度幸手市幸手駅西口土地整理事業特別会計補正予算 (第2号) (議案第73号)

**問** 物件移転補償費の5700万円減額の理由は。

**答** 1件分の移転補償費については、地権者との交渉は調ったが、来年度に契約を締結したいとのことで、今回は繰り延べし減額となった。